

## 第1回「新居浜市国際都市づくり委員会」議事録

- 日時 平成20年7月9日(水) 10:00～12:00
- 場所 新居浜市役所 大会議室(5階)
- 出席者 委員：加藤 彪委員、野村佳代子委員、定岡 優委員、三木由紀子委員  
真鍋英子委員、土井美智子委員、田窪秀道委員、篠原雅士委員  
中田 晃委員、宇野 章委員、松木敏幸委員、合田仁千委員  
吉本さやか委員、伊藤公一委員、平塚敏明委員、山内隆夫委員  
栗田敬子委員、早瀬伸樹委員、渡辺千景委員、佐々木佐知子委員  
張 永慶委員  
以上 21人(天野 淳委員 吉田達哉委員 欠席)
- 市側：佐々木市長 前垣市民部長 伊藤市民部総括次長  
酒井市民活動推進課副課長 山崎  
以上 5人 計26人
- 傍聴人数 なし

### ○次第

#### (1) 市長あいさつ

概要： 現行の「新居浜市国際交流基本計画」は平成4年につくられ、今日の社会状況にそぐわない箇所も出てきました。新居浜市の外国人登録者数は、10年前と比べると、日本全体の変化同様、1.6倍に増加しています。国では、こうした外国人の増加に伴い、「地域における多文化共生」プランを打ち出しました。これは、外国人住民も生活者であり、地域住民であることを認識し、地域社会の構成員として共に生きていく考え方であり、この考え方を柱に今年度は将来に向けた新しい「新居浜市国際交流基本計画」案を本会で作っていきたいと思います。委員の皆様には、それぞれの立場で御協力をお願いいたします。

#### (2) 委嘱状交付

#### (3) 委員紹介

#### (4) 委員長、副委員長選出

新居浜市国際都市づくり委員会設置要綱第5条第1項に基づき、互選により、

委員長に加藤 彪委員、副委員長に野村佳代子委員を選出した。

(5) 議 事

加藤委員長	<p>それでは、これより、お手元の次第に従いまして、議事を進めます。</p> <p>「新居浜市国際都市づくり委員会」設置要綱の第6条第1項に「委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる」となっております。これによりまして、私が議長を務めさせていただきます。</p> <p>では、議題の1番、「委員会設置の経緯及び任務」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、説明させていただきます。</p> <p>本日は皆様大変お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。経緯についてですが、「国際化推進の流れ」を御覧ください。</p> <p>新居浜市では前回平成4年に「新居浜市国際交流基本計画」が策定されました。それを基に市の国際化をすすめてきました。その頃と、現在をそれぞれの項目で対比してみました。</p> <p>ここに載せています事柄は裏の「国などの指針等」から引き出してきました。</p> <p>外国人の人数は、国・市共に10年前と比べると、1.5倍以上に増えております。</p> <p>(10年前の)政治経済面では、国際化がかなり進み、地方では外国との姉妹都市提携などが盛んに行われ、本市も平成9年中国徳州市と友好都市締結をしました。現在は日本人の人口が減り、外国人労働力が必要となっております。EPA(経済連携協定)などにより今後ますます増えると予想される外国人住民対策が全国的な課題となってきました。</p> <p>次に地方公共団体に求められるものとしまして、10年前は、地域レベルの国際交流の先導的役割、住民の国際認識と国際理解を喚起し、国際社会における地域アイデンティティの確立により、地域産業、経済の振興を主眼としていましたが、現在では、地方で暮らす外国人の増加により、外国人を一時的滞在者としてのみならず、地域に暮らす生活者、地域住民として認識し、国籍や民族など異なる人々が、互いの文化の違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生の地域づくりというものが求められております。</p> <p>5番の目指すものとしましては、10年前は、「国際交流」「国際協力」の2本柱が盛んに言われていた時代でしたが、最近では3つ目の柱としまして</p>

	<p>国際交流に関っている方なら必ず最近は耳にする「地域における多文化共生」が出てまいりました。この多文化共生という言葉は、上記の赤枠で囲んでおります、地方公共団体に求められるもので説明しているとおります。</p> <p>国際交流計画を作っていく参考として、「地域が多文化共生を推進する意義・目的」として、(1)～(5)番が例に挙げられております。いずれをみましても、外国人を身近な住民・隣人と捉えての意義・目的です。</p> <p>国は、平成18年3月に、「地域における多文化共生プラン」を打ち出し、地域における多文化共生に係る指針や計画を策定するよう文書で通知が地方公共団体にありました。新居浜市としましても、現在の国際交流基本計画では時代にあいにくいところも出てきているため、今回、各層の皆様にお集まりいただき、「多文化共生」に重点を置いた、新しい国際交流基本計画の案をご意見をいただきながら作っていく目的で招集させていただいております。</p> <p>次のページの7番の「施策」で、現在では(1)～(4)が挙げられております。</p> <p>特に、次の8番「民間のとらえ方」については、国の「多文化共生」プランでは強調されているところで、「NPO、NGO その他の民間団体が連携・協働を図るための協議の場を設けること」と、市民の方々と共に地域づくりをするよう国際交流を先導するボランティア団体さんなどを重要視した書き方になっています。</p> <p>増えてきた外国人も市民も、同じ新居浜に住む市民として、共に認め合い、仲良く不安なく生活していくため、みんなが助け合って多文化共生を推進していける新しい「新居浜市国際交流基本計画」の案を今からこの委員会で作っていただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
加藤委員長	ただ今の説明に対して、ご質問はありませんか。
中田委員	先日送られてきた現在の「新居浜市国際交流基本計画」を見させていただきました。16年前に作られたものであり、時代にそぐわない箇所もあるとのことですが、大変広範囲について網羅した計画と思います。その中で、具体的に実施されていない課題もありますが、委員会設置要綱の中に、「任務」がありますが、「多文化共生」の必要性が強くなってきたので、現在ある計画を補強するのか、それとも、今の現在ある国際交流基本計画の手直しをするための委員会なのか、委員会設置の目的をもう少し具体的に説明いただきたい。

事務局	新居浜市が今回新しく作る計画では、多文化共生だけにとらわれずに、全般広くわたって作っていききたいと思っています。
中田委員	国際交流基本計画の平成20年度版を作るということですか。
事務局	はい。そうです。
加藤委員長	先般送られた基本計画は、随分古くなっております。新たな基本計画を作っていくという会にこれからなっていくことになるようです。事務局の作ったものについて、皆様方で御審議いただき前に進んでいければと思います。他に御質問などありませんか。
定岡委員	そうすると、実質的には平成4年以後現在20年まで中間の活動がなかったけれど、今後は活動していこうと企画され、20年からしていきましょと発案があつて委員会が集められたのですか。それとも、これまでもそれなりに活動はあつたのですか。
事務局	委員会としましては、何度か招集させていただいていると思うのですが、正確に把握はできておりません。しかし、平成4年に作った計画を主として現在まで国際交流を推進してまいりました。先にお送りさせていただきました、A4横の資料を見させていただきますと、真ん中に、「現在の状況」ということで、それぞれの事業が進められてきていることがわかっていただけだと思います。
定岡委員	10何年前休会状態に近い会が復帰して、20年度からやってみようかということで集められたのかと思ったのですが、時々委員会があつて活動され、ベースは平成4年の基本計画であつたということですね。  議事録とかはありますか。
事務局	あると思います。
加藤委員長	新居浜市では、国際交流の活動については各団体等で活発になされていましたが、委員会としては、しばらく休会であつたわけですが、  それでは次の議事に進めてまいります。議事2の、現在の「国際基本計画」

	<p>の課題等今度はこのA 4横の資料になります。</p> <p>進め方についてですが、1の「国際性豊かな人づくり」の事務局説明後、皆様から御質問・御意見をお伺いし、次に、2の「国際性豊かな風土づくり」説明後にまた御質問・御意見をいただき、3. 「国際性豊かな産業づくり」4. 「国際性豊かな街づくり」5. 「国際性を育む体制づくり」については、まとめて説明後、一括して御質問・御意見をいただきます。</p> <p>それでは、1の「国際性豊かな人づくり」について事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>事務局</p> <p>新しい国際交流基本計画を作るため、今の問題点を洗い出し、その課題を解決する方策を新しい計画に盛り込んでいきたいと思えます。</p> <p>先にお送りさせていただきました、A 4横の資料を御覧ください。</p> <p>現行の国際基本計画でこれからやっという掲げた項目について一番左に、その右は、現国際交流基本計画でその項目の掲載されているページです。真ん中が、それぞれの計画に対して今はどうであるか、その右に課題をまとめております。いずれも私担当者レベルで作ったもので、勉強不足のため、現実と違うところや、御意見など皆様にいただきながらこの表を追加、修正させていただき、新計画に生かさせていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、1番「国際性豊かな人づくり」です。</p> <p style="text-align: center;">————— 国際性豊かな人づくり の説明 —————</p>
加藤委員長	<p>ただ今の説明に対して、御質問、御意見はありませんか。</p>
真鍋委員	<p>1ページ下の、浴衣パーティーをしている団体ですが、このことで質問があります。文化振興会館をお借りしておりますが、かなりの会場料が必要です。その他浴衣のクリーニング代も必要です。参加者の会費を上げるとなると参加しにくくなり、会場使用料が毎年悩みの種です。一般市民の方は会場の都合などもあり、御参加いただけないので、市の共催は取りにくいので、共催の申請はせず、使用料の減免はしてもらっていませんが、会場使用料が何とかならないでしょうか。</p>
定岡委員	<p>市が補助金を出すとかありますよね。</p>
事務局	<p>市のサポートにつきましては、後で個別にお話させていただきます。</p>
加藤委員長	<p>国際交流の催しを諸団体がしようとした時、団体が、会場の使用料など、たくさんの負担を強いられる。担当の方でそういう機会が気軽に多く持てれ</p>

	<p>るよう考えていただければと思います。</p>
中田委員	<p>(ア)の「国際交流推進委員会」はどのような組織でどこにありますか。</p> <p>また、ずっと見せていただいて、国際交流センターや国際交流協会の設立が計画にはありましたが現在は設置されていません。必要ないからできていないのか、必要あるけどできなかったのか、また、全体として、計画を踏まえ、今までやってきたことの総括というか評価はどのようにされますか。</p>
市民部長	<p>新しい計画ということで、今日この事務局の議題で説明している中で、現計画、それらの現在の総まとめも皆様からのご意見もいただいきざるを得ないと思っております。現実的にはそれぞれにおける国際交流は、活発にされているということは共通の認識なのですが、それらの総括を含めながら、新しい計画に繋げていきたいという基本的な考え方でおります。国際交流センターや協会は、結果としてできてはおりませんが、これがなかったからできていないとは思っておりません。どういう経過でできていないのかについては御指摘いただきましたら、次の会でも説明させていただき、皆様に御審議いただきやはり必要ということになりますと、新しい計画に挙げていかななくてはならないと思っております。</p>
加藤委員長	<p>もう一点、「国際交流推進委員会」はどこに所属し、どういった内容の会か説明ください。</p>
事務局	<p>これは、教育委員会の学校教育が主管しております。設置の目的は、「児童及び生徒を中心とした国際交流及び国際理解を推進し、青少年に未来への夢をもたせ国際感覚の高揚を図る」となっており、メンバーは国際交流に関するボランティア団体、学校関係団体等からの推薦いただいたメンバー20名ほどの会です。</p>
栗田委員	<p>現在の「新居浜市国際交流基本計画」の14ページを御覧ください。</p> <p>この表では、中高生の海外派遣はオーストラリアが最終ですが、その後韓国に派遣しておりました。現在はアメリカのウィスコンシン州フランクリン高校と国際交流が始まり、今年度も8名の高校生に来ていただきました。こちらからも昨年度20人の中学生がフランクリン高校を訪れ、ようやく相互交流が可能になりました。</p>
加藤委員	<p>昨年までは、中高生が海外派遣されていましたが、昨年度からは、高校生</p>

事務局	<p>は海外派遣されておりません。中学生のみの派遣になりました。      それでは、2.「国際性豊かな風土づくり」の説明をお願いします。</p> <p>2番「国際性豊かな風土づくり」です。</p> <p style="text-align: center;">————— 国際性豊かな風土づくり の説明 —————</p>
加藤委員長	<p>ただ今の説明に対して、御質問、御意見はありませんか。</p>
土井委員	<p>(2)の(ウ)の日本語教室をしておりますにはま日本語の会です。      先日、日本語スピーチコンテストも盛況のうちに終了したところです。現在約130人の生徒さんを教えていますが、受講人数が増え、クラスが多くなっております。新居浜市の委託料も減ってきており、資金面で苦慮しております。日本語教室には、外国人の労働者が多いので、雇い主の企業にも資金面で御協力いただければありがたいと思っております。</p> <p>また、その他の、外国人児童・生徒の日本語教育もこの会がさせていただいていますが、学校や、担任の先生の御理解を得てまいりたいと考えております。</p>
栗田委員	<p>外国人児童に対する学校側の理解や配慮については、反省し、改善していかなければならないと思います。</p> <p>最近では、日本人と結婚していた外国人児童のお母さんが日本人と離婚し、学校からの書類なども理解できない家庭が出てきています。そういった家庭に対する援助も大切です。</p>
加藤委員長	<p>ありがとうございました。その他御意見はありませんか。</p>
張委員	<p>私、中国からの研修生の受入れなどをしております、張永慶と申します。</p> <p>研修生が新居浜に来た時に、ゴミの出し方について必ず教えます。しかし、中国では、分別がないため、何度新居浜の分別システムを教えてもわかりにくいようです。これがもとで、地域の住民の方とトラブルになることもあります。</p> <p>研修生は、もともと3年したら母国に帰ってしまうため、もともと地域に溶け込もうという意志では来ていません。ですから、研修生は研修生同士でいつも固まって行動しています。この点は、日本人と結婚して新居浜に住まわれている外国人や、留学生とは異なる点です。また、研修生が日本に来るためには、日本での保証人が必要で、受入れ企業や団体が保証人になりますが、日本での研修生の四六時中の行動に責任がありますので、なかなか研修</p>

	<p>生を自由に地域に出したくないという気持ちもあります。ですから、ここなら安心して集えるという場所をつくっていただきたいと考えます。</p>
事務局	<p>そのことは事務局としても思っておりました。いろいろ調べていますと、市役所のどこかひとスペースをそういう外国人の方が気軽に集えるサロンのように場所を提供している自治体もありました。こうした例を参考に、新居浜市でも今後考えていきたいと思っております。</p>
加藤委員長	<p>少し時間がオーバーしてまいりました。この後3つの分野の説明が残っておりますが、この後の進め方につきまして、いかがいたしましょうか。</p>
市民部長	<p>事務局の方で今後の「本計画スケジュール」を作っております。その説明をさせていただき、残りの3分野について本日続けて御審議いただくか、別の日にお集まりいただくか御判断いただいたらよいのではないかと思います。</p>
加藤委員長	<p>それでは事務局から、「本計画スケジュール」について説明して下さい。</p>
事務局	<p>それでは説明させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">————— 本計画スケジュール の説明 —————</p>
加藤委員長	<p>事務局から「今後のスケジュール」について説明がありましたが、この後残りの3分野についてはどういたしましょうか。事務局どうでしょう。</p>
事務局	<p>あとの分野につきましては、説明も今までの分野より短い予定ですし、委員の皆様のお時間が許すのでしたら、このまま続けさせていただきたいと思っております。</p>
定岡委員	<p>12時までまだ時間もあることですし、今日続けてしてしましましょう。</p>
加藤委員長	<p>皆様このようなご意見が出ましたが、お時間は大丈夫でしょうか。</p> <p>それでは、3. 「国際性豊かな産業づくり」、4. 「国際性豊かな街づくり」、5. 「国際性を育む体制づくり」について引き続き事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>3番「国際性豊かな産業づくり」です。</p> <p style="text-align: center;">————— 国際性豊かな産業づくり の説明 —————</p> <p>次に、4. 「国際性豊かな街づくり」です。</p>



	<p style="text-align: center;">————— 国際性豊かな街づくり の説明 —————</p> <p>次に、5. 「国際性を育む体制づくり」です。</p> <p style="text-align: center;">————— 国際性を育む体制づくり の説明 —————</p>
加藤委員長	では、3、4、5の分野について御意見、御質問はございませんでしょうか。
三木委員	4. 「国際性豊かな街づくり」の(2)「外国人にとっても暮らしやすい街づくり」のその他で、「医療・保健・福祉関係の国際化についてデータなし」となっていますが、私達 SGGクラブで作成した外国人のための英語のガイドブックの中では、医療機関や、予防注射・検診などについても記載しており、もし、自治会さんなどで、地域の外国人さんに渡したいという時は、言っていただくとお渡しできますので、活用して下さい。
渡辺委員	母子手帳については、英語・中国語・韓国語など8カ国語のものを用意しております。その他、親子で行ける公園などの紹介もできたらいいと思います。
定岡委員	この資料の全体的に言えることですが、「少ない」とか、「人数が増加し」とか、「増やす」の言葉を使っていますが、「どれくらいが少ない」のか、「どのくらいに増やす」のか、具体的な数値で表してほしい。
事務局	わかりました。具体的な数字で表すようにします。
加藤委員長	その他、御意見などございませんか。
宇野委員	私の会社でも、中国からの研修生を受け入れていますが、商工会議所は、この13次に受け入れた研修生が中国に帰ると、受け入れから手をひいてしまいます。3. 「国際性豊かな産業づくり」の(1)「産業の国際交流の推進」(イ)に、「今後は受入れ機関や商工会議所と連携し、これら研修生のトラブル対策や相談などが行えるようにしなければならない」とありますが、受入れをやめる商工会議所とどうやって連携するのですか。
合田委員	平成7年に中国からの研修生を受け入れることになった時、まだ新居浜市には受入れ団体が無かったため、商工会議所が受入れ母体となりました。しかし、現在では、他に受入れ団体もできてきたため、商工会議所として、この役目は終わったものとみなし、受入れ事業からは手をひきました。

	<p>しかし、商工会議所は、市内の商工業の発展を図り、企業の福祉増進に資するところです。研修生のもろもろの対応、相談等には、これからも関わっていきます。</p>
加藤委員長	<p>その他せっかくの機会ですので、委員の皆様から、国際交流に関する御意見・御提言などがございましたら、何でも御遠慮なく御発言ください。</p>
張委員	<p>新居浜市からも海外へ企業が進出しておりますが、現在中国政府も中国企業が海外へ進出することを推奨しています。新居浜に中国企業が進出した場合、どちらに相談すればよいでしょうか。</p>
事務局	<p>市の窓口は商工労政課になります。</p>
加藤委員長	<p>その他何かありますでしょうか。 事務局からは、何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>ありません。</p>
加藤委員長	<p>ないようでしたら、以上で司会進行の役を終わらせていただきます。</p>
事務局 (伊藤総括)	<p>それでは、委員の皆様本日はありがとうございました。今後も御協力よろしくお願いたします。 これで、第1回委員会を終了いたします。</p>